

# 岐阜県代協ニユ

平成22年12月

vol.189



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

# 2010 年を振り返って

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ かねお 大江 金男

保険大学校 11 期生の皆さん、日本代協認定保険代理士の認定おめでとうございます。  
2 年間にわたり通信教育・セミナーの受講、試験に合格された 24 名の方々に心から賛辞を贈りたいと思います。認定授与式を 1 月 13 日（木）長良川スポーツプラザで執り行います。会員の皆様の出席をお待ち申し上げます。

2010 年を振り返ってみますと、何と云っても 10 月 6 日に「岐阜県代協創立 60 周年式典」が長良川スポーツプラザで開催することができ、式典にあわせた記念誌・DVD 刊行とともに忘れられない行事となりました。

今年は各県代協の周年行事が取り組まれ、11 月には「三重県代協創立 50 周年式典」、年明け 2 月には「静岡県代協創立 60 周年式典」が予定されています。

カリキュラムが大幅に改訂され、受講方法もネット・ウェブと新しくなる保険大学 13 期受講者の申し込みは、12 期の駆け込み受講の反動が心配されていましたが、18 名の目標に対し 21 名の申し込みがありました。12 期に続き岐阜県代協が牽引役を果たし全国的にも目標を突破することができました。日本代協より岐阜県代協に早期目標達成と大幅な超過達成（175%）の顕彰金をいただくことができました。

目標に対してやり残した課題は会員増強と国民年金基金加入者拡大です。

国民年金基金は年内に目処がたったようですが、会員増強は残念ながら未達成です。

代理店合併が一時より落ち着いてきたとはいえ、まだまだ続くようで大変厳しい状況ではありますが、組織委員会や役員だけの取り組みにせず岐阜県代協の総力をあげて、未加入代理店に対し呼びかけをお願いいたします。

60 周年事業の完結は会員増強を成し遂げ、消費者はもとより保険会社からも監督官庁からも信頼される岐阜県代協・日本代協にしていこうではありませんか！

今年度は各委員会の活性化と明日を担う人材育成に重点をおいて、初めて全役員・委員を対象にした「オリエンテーション」を開催し、また従来新入会委員を対象とした「新入会員オリエンテーション」を昨年の試みから、新入会員だけでなく代理店後継者に枠を広げ支部長推薦者を加えて開催したところ多数の参加がありました。二つのオリエンテーションとも若い人達に代協活動を理解していただくうえで大きな成果があったと思います。

CSR 委員会は車椅子に交換できるペットボトル・エコ・キャップ運動や長良川清掃などのボランティア活動、自賠責無保険者追放キャンペーン、地震保険普及キャンペーン、盗難防止キャンペーンなどさまざまな取り組みをしてきました。こうした取り組みが各支部単位で取り組まれるようになれば、若い人達にも参加しやすくなるのではと思います。

2011 年は岐阜県代協として縦系ともいうべき各委員会活動と横系となる各支部の活動が有機的に連携していくなら、岐阜県代協の織りなす活動が質的に大きく変化するのではないのでしょうか。



## 目次

1 p	・ 会長挨拶 / 目次	9 p	・ 中さんの保険諸国漫遊記 (56)
2 p	・ スケジュール / 事務局より	10 p	・ ~ 中崎章夫 ~
3 p	・ 日本代協ニュース	11 p	・ なるほど『ぎふ雑学』(21) ~ 松尾 一 ~
4 p	・ 支部活動報告	12 p	・ SHINWA グループ
5 p	・ 支部活動報告	13 p	・ 損害事故復旧サービス ~ ホームステップ (株) イケダ ~
6 p	・ 委員会報告	14 p	・ 交通事故による損害復旧工事 ~ (有) 岐垣創建 ~
7 p	・ 会員投稿記事	15 p	・ 広報機関誌委員会アンケート調査
8 p	・ 代理店紹介		

# スケジュール/事務局より

## ～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
11	18	木	県代協	新入会オリエンテーション(13:00～)	瑞穂総合センター
12	1	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	7	火	日本代協	保険大学校セミナー(第12期3回目)	(株)損保ジャパン名古屋ビル
	8	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	8	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター
	9	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	10	金	飛騨支部	役員会(19:00～)	千年の宴
	14	火	東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	愛知県代協事務局
	15	水	岐阜支部	東ブロック会(12:00～)	蟹や徳兵衛
	15	水	岐阜支部	西ブロック会(12:00～)	馬喰一代
1	11	火	日本代協	保険大学校セミナー(第13期2回目)	ウインクあいち
	12	水	中濃支部	新年会(11:00～)	昇月
	13	木	岐阜支部	役員会(10:00～)	長良川スポーツプラザ
	13	木	県代協	第11期認定証授与式&賀詞交歓会	長良川スポーツプラザ
	13	木	県代協	三役会(14:30～)	長良川スポーツプラザ
	14	金	西濃支部	新年会(18:00～)	一天張
	19	水	飛騨支部	新年会(18:30～)	清龍
2	2	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	4	金	岐阜支部	合同ブロック会セミナー	十八楼
	10	木	東濃支部	幹事会(11:00～)、例会(11:30～)	みわ屋
	25	金	広報機関誌	認定保険代理士広告 新聞掲載	中日新聞(予定)
3	3	木	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター(予定)
	15	火	東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	愛知県代協事務局

## 事務局より

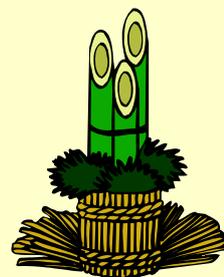
岐阜県代協事務局 年末、年始の営業日について

年末 平成22年12月 28日(火)まで

年始 平成23年 1月 5日(水)より

ご迷惑をお掛け致しますが、よろしく願い申し上げます。

<急用の方は 090 - 3556 - 4111 小西まで>



岐阜県代協事務局 TEL : 058 - 294 - 1221 FAX : 058 - 294 - 8051  
Eメールアドレス : [gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp) (担当:小川百合子)

# 日本代協ニュース

## 12 / 20 付 読売新聞：銀行窓販関連記事に関する情報

### 要旨

銀行窓販の弊害防止措置の見直しについては、現時点では全く未定である。来年1月以降、関係団体のヒアリング等を経て有識者等による論議が行われる予定であり、日本代協としては引き続き規制の存置を求めて行動する。

### 1. 経緯

12月20日付の読売新聞(夕刊)並びに翌日の朝刊に、「金融庁が銀行の保険販売に関する規制を撤廃する方針を固めた」との記事が掲載されたものです。その後、業界紙を含め他紙の後追いはありません。

### 2. 事実関係

金融庁総務企画局保険企画室の本件担当専門官に、協会長会社(あいおいニッセイ同和)経由で確認したところ、以下の回答でした。(12月20日17時20分)

\*「読売夕刊の記事は承知しているが、当然、金融庁は一切関与していない。どこが情報ソースなのか当局においても調査中である。当局としての見解は、先週(下記)の大臣会見の通りであり、現時点でも何ら変更はない。また、年内に何らかのアクションを起こす予定もない。」

### 3. 今後の取り組み

現時点での情報は以上の通りですが、本件に関しては、金融業界は規制撤廃、生保業界は規制強化、損保業界は基本的には規制維持との立場です。

日本代協としては、規制存置、消費者への周知、規制の実効性確保の3点を要望しています。引き続き、動向を注視するとともに、政連対応も含めて消費者を圧力募集から守るため現行弊害防止措置の必要性を訴えていく所存です。

## <日本代協・認定保険代理士PR企画>テレビCM放送に関するご案内

日本代協広報委員会で、テレビCMの制作を進めてまいりましたが、今般CMが完成するとともに、下記のとおり今年度中の放送番組(提供番組)が決定しましたのでお知らせします。

なお、今回の日本代協のCMのラストカット(「社団法人 日本損害保険代理業協会」の表示)を変更し、各代協バージョンでのCMを作成することを検討しています(実費は代協負担)。詳細につきましては、改めてご案内します。

### 放送番組・放送期間

1. 「BS民放10周年 5局共同特別編成番組(年末年始特別企画)」  
2010年12月25日(土)~2011年1月16日(日)30秒×17回
2. 「ワールドビジネスサテライト」(放送局:BSジャパン)  
2011年1月~3月 毎週金曜日24:00-25:04 各回30秒×1回
3. 「小谷真生子のKANDAN」(放送局:BSジャパン)  
2011年1月~3月 毎週日曜日23:00-23:30 各回30秒×1回

# 支部活動報告

## 【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成22年12月 7日(火) 12:00~

開催場所 : 岐阜県図書館 レストラン杏

出席者数 : 役員8名、小西専務理事、石原組織委員長

報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

### 《議題》

東ブロック主催セミナーについて 2月4日(金)・十八楼にて、講師に永末春美様を招いて開催

東ブロック会(蟹や徳兵衛)12月15日(水)12時より 予定参加者11名

西ブロック会(馬喰一代)12月15日(水)12時より 予定参加者16名

東西各ブロック会において兼業代理店の洗い出し。

来年、1月13日認定証授与式&賀詞交歓会 長良川スポーツプラザにて開催

次回役員会は 平成23年 1月13日 10:00~ 場所 長良川スポーツプラザにて

## 【岐阜支部東ブロック会報告】

開催日時 : 平成22年12月15日(水) 12:00~ 開催場所 : 蟹や徳兵衛

参加者数 : 12名 報告者名 : 東ブロック長 大野 広

### 《議題》

今後の行事について

・1/13 認定保険代理士認定証授与式&賀詞交歓会開催予定

・2/4 セミナー、懇親会開催予定

会員増強の件

第14期保険大学校受講者募集の件

国民年金基金加入促進の件

岐阜県代協ホームページリニューアルについてアンケート回答依頼

### 《その他 意見》

・2/4 セミナーのテーマは、代理店賠償に関するものの方が良かった。

(最近、支払対象事案が増えている事への不安がある)

・会員増強に関して、会員が増えない理由のひとつに、会費が高いことも原因では??

## 【岐阜支部西ブロック会報告】

開催日時 : 平成22年12月15日(水) 12:00~ 開催場所 : 馬喰一代

参加者数 : 21名 報告者名 : 西ブロック長 高橋 健

### 《議題》

会員増強について

・参加者に知り合いのモータース店をノートに書いてもらったところ7社ぐらいの候補社が浮かび上がり、代理店賠償を武器にしてアプローチする。

その他保険会社の代理店業務連絡会等で出会った人に入会を勧める事等が決まった。

国民年金基金について

・あと目標数字まで2名なので若い代理店使用人等にも勧める。

### 《その他 意見》

新入会員の自己紹介ならびに出席者全員の自己紹介をして鍋をかきみながら和気あいあいに終わった。

最後に2つのブロック会を合同してやってみたらという意見もでた。

### 【西濃支部12月例会報告】

日時：平成22年12月1日(水) 12:00~13:30 場所：鶴見天近  
参加者数：17名 報告者名：後藤 益充

#### 《内容》

会員増強 各保険会社への挨拶回り

平成23年度新年会のご案内

日時：平成23年1月14日(金)

場所：一天張 支店 2F 大垣市高砂町1丁目 TEL 0584-78-9526

参加費用：正会員 1名 5000円

西濃代協行事企画委員について

役員より今津さん、北村さん、水野さんが任命されました。

代協会員オリジナル保険商品について

西濃支部からは人身生命保険と他車運転についての提案

その他他社の動向

次回例会は 2月2日(水) 12:00~ 場所 鶴見天近にて

### 【中濃支部12月例会報告】

開催日時：平成22年12月8日(水) 10時30分~ 開催場所：太田宿 美濃加茂市太田町  
参加者数：13名 報告者名：支部長 吉田 春次

#### 《内容》

組織拡大について

国民年金基金について

新代理店試験制度について

その他情報交換

次回1月例会は新年会に代えさせていただきます。

新年会 1月12日(水) 11時より 昇月 太田町 1878-1 0574-26-1271

多数参加お待ちしております。

### 【東濃支部例会報告】

開催日時：平成22年12月 9日(木) 11:30~13:00

開催場所：釜戸 みわ屋 参加者数：9名 報告者名：伊藤 智之

#### 《内容》

12月8日に行われた県代協の理事会の報告(会員増強について)

支部の代表で年会費諮問委員を会計さんをお願いしました。

1月13日開催の代理士認定式授与式及び賀詞交歓会の案内

次回例会案内

1月例会は賀詞交歓会に出席することで例会に代えることとし、

2月例会は 2月10日(水) 幹事会・例会 11:30~ 場所：みわ屋にて

### 【飛騨支部活動報告】

開催日時：平成22年12月10日(金) 19時00分~ 開催場所：千年の宴

参加者数：7名 報告者名：成原 大介

#### 《内容》

役員忘年会を行いました。役員ということで、出席は7名でしたが、

今後の活動について話し合い、わきあいあいと懇談できました。

# 委員会報告

## 【教育委員会】

《日本代協保険代理士認定授与式について》

第11期認定保険代理士の合格を祝し、認定授与式を下記の通り行います。  
保険代理士を広く認知していただくために保険会社各社からも授与式にご出席賜り、  
われわれ会員と共に祝福したいと存じますので、認定者の方は全員出席の程お願いいたします。

記

日 時 : 平成23年 1月13日(水) 11:00から  
場 所 : 長良川スポーツプラザ 大会議室  
認定対象者数 : 24名

なお、認定対象者の方で出欠のお返事がまだの方は至急事務局までご返答のFAXをお願いいたします。

(報告者 教育委員長 宇野 仁基)

## 【広報機関誌委員会】

『日本代協認定保険代理士新聞広告』について

本年度も恒例となりました日本代協認定保険代理士PRのための広告を中日新聞岐阜県全域版に平成23年2月下旬頃(25日予定)に掲載を企画いたします。  
今年度も、岐阜県損害保険代理業協会だけの企画となり、認定保険代理士広告として全面広告を掲載の予定です。平成23年 1月 1日付けで第11期認定保険代理士に認定されます24名を加え、岐阜県代協も総勢180名の認定保険代理士が誕生したことになります。  
詳細はホームページ、岐阜県代協お知らせメール等でもお知らせいたしますが、おって、広告申込のご案内を申し上げますのでよろしく願い申し上げます。  
多くの認定保険代理士の方々の申し込みをお待ちしております。

(報告者名 : 広報機関誌委員長 川島 邦夫)

## 【CSR委員会】

<ペットボトルキャップの回収のお願い>

CSR委員会は本年もひきつづきエコキャップ回収運動を推進しています。  
1月13日(水)認定証授与式&賀詞交歓会会場にて回収させていただきますので、お手持ちのペットボトルキャップにシールがはってある時はそれをはがし、水洗いいただき、お持ちいただきますようよろしくお願い申し上げます。

(報告者名 : 担当副会長 小林 悦雄)



# 会員投稿記事

## 「高山への赴任にあたって」

会員の皆様 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 高山支社 支社長の小田新一と申します。  
本年10月1日よりあいおい損害保険株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社が合併し、新会社「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」が誕生いたしました。

私は10月1日より旧ニッセイ同和損害保険株式会社岩手支店より赴任して参りましたが、岩手といえばNHK朝のテレビ小説「どんと晴れ」の舞台ともなり、また浅田次郎原作「壬生義士伝」の主人公新選組の「吉村貫一郎」の出身地でもあるので歴史小説の好きな方はご存知かと思います。

東北では、本年4月から半年間という短い勤務でございましたが、今年の夏は異常気象の影響もあってか過去に無いほどの大変に暑い夏でありました。

そんな暑い夏、私は、東北4大祭り「青森ねぶた・秋田竿灯・山形花笠・仙台七夕」に次ぐお祭りと言われております岩手県盛岡市の「盛岡さんさ祭り」に地元の代理店企業様のメンバーとして参加させていただきました。

飛騨高山では「高山祭り」という全国的にも有名なお祭りがございますが、盛岡さんさ祭りは「最も多い数の和太鼓の演奏」においてギネスに認定されておるもので毎年観光客も増えてきており大変な盛り上がりを見せております。(2,571名の世界記録を達成)



さて、飛騨・高山地区におきましては、旧個社時代より他の地区に比して多数の代理店様、ご契約者様から多くのご貢献をいただいております。

会社は合併し、巨大な保険グループの一員としてのスケールメリットを追求することも大事ではございますが、我々出先を預かるものとしたしましては、従来からの地域に根ざした営業活動が従来にも増してもっと必要になってくるものと考えており、私自身も代理店様とともに当地で飛躍したいと思っておりますのでどうぞ何卒宜しく願い申し上げます。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
岐阜支店 高山支社  
支社長 小田 新一

# 代理店紹介

飛騨支部

塚本保険事務所

<代理店名>  
塚本保険事務所

<事務所所在地>  
〒506-0059  
高山市下林町1830  
TEL 0577-35-1005  
FAX 0577-35-1696

<代表者名>  
塚本 直人

<スタッフ>  
2名（男 1名 女 1名）

<取扱保険会社>

損保 株式会社損害保険ジャパン 計1社  
生保 第一生命保険株式会社、損保ジャパンひまわり生命株式会社 計2社

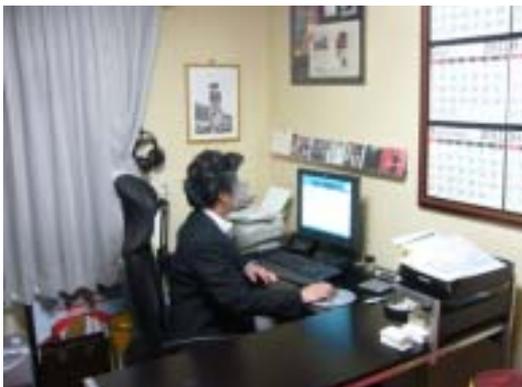
<事務所の環境>

中部縦貫道、高山インターのすぐ近くにあり、旧高山市の入り口の静かな場所にあります。来店型事務所ではありませんが、家計の保険をじっくり相談されるお客様や、生命保険のコンサルティングのためにいらっしゃるお客様には、リラックスでき落ち着きのある、アットホームな雰囲気創りを心掛けています。

<経営方針>

お客様への「安心」と「満足」の提供。

「お客様を1番に考える」保険なんでも相談所です。



## 2010年の保険流通業界 10大ニュース

2010年も残すところわずかとなっている。この時期に過ぎ去ったこの1年間の保険業界動向を振り返っておくことも明日を考えるうえで意味があろう。なぜならいろいろなニュース、出来事を通じて、この業界の何が変わり、何が変わらないのかが見えてくるからである。また保険代理店業というすこぶる人間力が問われる事業がどこを向いているのかも知ることができるからである。

この1年の保険流通業界に関連深いトップテンのニュースを以下のように選んでみた。専門プロ代理店にとっては損保同様生保もウエイトが増してきており、その意味では生保関連のニュースも加えた方が的確だろうが、第一生命の株式会社化や年金保険金の2重課税問題など生保固有ネタは省いてある。

1. 3メガ損保時代の幕開け
2. 2年連続コンバインドレシオが100%越え、損保収益悪化顕著
3. 自動車、火災相次ぎ料率引き上げ、傷害、高年齢層の引受規制
4. 販売方法多様化に拍車、多種目化戦略が新たなステージに
5. エコカー、EV問題が浮上
6. あいおい損保とニッセイ同和が合併・新会社へ
7. 3メガ損保、海外ウエイト高める
8. 金融庁、保険検査マニュアルを改訂、大型乗合代理店への独自検査も
9. 改正保険業法成立で公益法人等の無認可共済存続
10. そんぽADRセンターがスタート

### 3メガ損保時代の幕開け

この1年の保険流通界を振り返るとまさに転換期特有の状況を呈した。内需不振をもたらす最大の社会的構造的要因が生産年齢人口減少というインパクトである。国内市場が縮小する中で、保険会社が保険ビジネスで赤字基調となるなど収益構造が悪化をきたしていることもあり、経営革新を余儀なくされている。統合や合併による再編もこうした中での活路模索で、海外に市場を求めたり、国内事業の在り方を抜本的に見直す動きが顕著にみられた。

本年4月に、MS & AD、NKS Jと2つの巨大損保グループが形成されたことで、東京海上ホールディングスグループを含め3メガ損保時代に突入した事は、その損保市場における影響度合いからいって文句なしにトップニュースだろう。その影響をどう見るか。競争は激化するのか競争回避に動くのか、顧客にとってプラスに働くものかどうか、今後の展開に関心がもたれる。6位に上げた「あいおいとニッセイ同和の合併・新会社へ」も3メガ損保の一つMS & ADグループ内での統合の在り方、それぞれのメンバー損保の位置づけ、役割、統合効果を見定めていく必要がある。

### 海外市場拡大に走る3メガ損保

また、この3メガ損保誕生に関連する項目が結構多かったのも特徴といえる。7位に上げた「3メガ損保、海外ウエイト高める」も、国内市場縮小化の中で、海外からの利益もばかにならなくなってきている。先んじた東京海上ホールディングスでは欧米でのM & A効果もあり連結ベースで半分近くの利益が海外から得るまでになった。他の2メガ損保も海外ウエイトを上げざるを得なくなっている。新たな市場を求め欧米や新興国市場で積極的なM & Aに走る動きが目立ったが、今後その成否が経営にもたらす影響は大きくなる。

### 独自路線求められる他損保

3メガ損保以外の損保では、ミニ大手路線では埋没してしまいかねず、それぞれオリジナリティを鮮明にして存在感を示していかなければならない。この中でAIU、富士火災、アメリカンホームはチャリティスグループを形成することで、4極目を目指す。また東京海上グループ傘下ではあるが、独自路線を歩む日新火災は「日新モデル」を掲げ、中小専門プロ代理店の独立性を尊重する独自施策を打ち出し積極乗合攻勢をかけ収保増加につなげている。これも一つの選択かもしれないが、今後の動向に関心が集まる。

一方で、各地域の独立志望専門プロ代理店間の広域グループ化も進展してきている。まさに転換期ならではの先の不透明な時代ゆえの自己防衛策に走る動きが顕著になっているが、果たしてうまく機能していけるのか、またこうした動きに呼応した損保会社の施策展開が出てくるのかどうか、注目されるところだ。

### 悪績が要請するモデル転換

2位にランクの「2年連続コンバインドレシオが100%越え、損保収益悪化顕著」もインパクトは強かった。国内市場環境の悪化に加え、支払い適正化などへの対応、さらには統合に伴うコスト負担が前倒しで出てくるなどもあり、2010年度も引き続

き、大きな改善は見込めない。このため国内では、事業の在り方の抜本的な改革によるコストの削減施策が求められるところとなる。本年3メガ損保などで目立った動きとしては、営業拠点の見直し、削減、人事制度改革、営業現場への女性スタッフの投入、生保部門への損保営業からのシフト転換、そして顧客接点での業務完了の仕組みの模索など営業から事務まで含めたプロセス管理面の革新施策が進展した。ただし人員面の余剰は解消されておらず、コスト削減含め、今後どのように人員の再配置などを行っていくかも課題である。一方で、手数料施策面でも、2011年度の東京海上日動の手数料体系にみられるように、成長性の尺度を大胆に取り入れた基準を基本に据えた体系を導入するところが出てくるなど、規模や品質に加え前年対比伸び率を鋭く反映させた傾向が出てきた。今後3メガ損保では、成長と品質を軸にした手数料施策をとることになりそうである。多様化、生保の販売にも力点を置く施策展開をとっている点でも共通している。この結果、代理店の大型化・組織化に加え、収益力を向上させる仕組みを持たない代理店には厳しい評価となる。

#### **相次ぐ値上げラッシュの影響**

3位に上げた「自動車、火災相次ぎ料率引き上げ、傷害、高年齢層の引受規制」も、悪績からの当然の帰結ともいえるが、値上げという施策のみでは社会や契約者の理解は得られない。寡占化の弊害といった批判が的外れだと果たして言えるのだろうか。上げ幅の圧縮など、損保各社の一層の自助努力が必要なのではないか。また、傷害保険についてロスの高い70歳以上の高齢者の保険金額削減などの引受規制、2011年度に各社が予定している自動車保険への60歳以上10歳刻みの年齢別の割増導入、また自賠責保険料の引き上げなど、厳しい施策転換が続くが、一方で、損保からの離反を招きかねないことにも注意しておく必要がある。

#### **販売手法の多様化で新たな波**

4位に上げた「販売方法多様化に拍車、多様化戦略が新たなステージに」ではないが、本年は、販売手法の多様化も目立った自動車保険や第3分野の通販ダイレクト展開に加え、今年は電話携帯3社がそれぞれ大手損保と提携し、モバイルからいつでもどこでも必要な日数のみ加入できる短期の簡便商品の発売を開始ないし合弁設立に入った事だ。4月にNTTドコモと東京海上日動が提携し、「ワンタイム保険」の販売を開始したほかKDDIとあいおいニッセイ同和損保が合弁で2011年春にはモバイル損保会社設立を決めモバイル専用商品の開発・販売を予定しているほか、ソフトバンクモバイルと損保ジャパンが提携し「かんたん保険」を12月から販売開始した。

#### **専業プロならではの売り方とは？**

こうした非対面型の販売手法が相次ぎでてくる中で、既存の対面型の代理店の販売手法の意味合いが問い直された。その中で、リスクチェックや、補償の見直しを生損保横断的に行うコンサル型手法がクローズアップされてきており、日本興亜の安心見える化運動、東京海上日動の抜本超保険の展開などコンサル型の販売が活発化することで、その他の損保の新機軸展開も加わり、2011年は専業プロにとって専業プロの売り方も新たなステージに突入しそうである。

#### **検査マニュアル改訂と代理店への金融検査**

8位に上げた「金融庁、保険検査マニュアルを改訂、大型乗合代理店への独自検査も」も販売手法多様化と関連がある項目だ。かつては代理店の管理・指導は代申の保険会社にゆだねられていた。ところが販売手法多様化で、広範な商品を取り扱い、芳危機で展開する独立志向の強い代理店モデルが台頭してきた。保険の電話販売や来店型ショップ販売、広域に拠点を置く代理店モデル消費者保護の観点から独自に直接検査をする必要に迫られた。

#### **エコカー、EV問題浮上した年**

2010年度上期は、エコカー補助金という政策効果もあり、新車販売が好調だったが、それが途切れた9月7日以降は暗転した。これは自動車保険、自賠責保険の増率にも跳ね返った。本年はまた、低燃費車やハイブリットカーなどエコカーに人気が集まっているが、さらに次世代カーとして注目される電気自動車(EV)について実用段階を迎え、国内メーカーでも三菱(アイミーブ)、日産(リーフ)と相次いでモデルを本格投入した。EV本格普及には価格、電池寿命、給電設備などのインフラ整備などクリアすべき課題は多いが、官民挙げてグローバル競争に拍車がかかっており、ガソリンを使わない究極のエコカー、さらには部品点数がガソリン車の3分の1以下で済む等自動車産業構造を一変しかねない。今後の動静から目が離せないし、将来の保険の在り方へのインパクト大である。

#### **公益法人共済の存続、損保版ADR**

1月に保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律」という実にややこしい法律が成立した。中身はずばり宙ぶらりんの公益法人等の共済事業をそのまま維持存続させるというもの。2006年施行の保険業法では、無認可共済を特定保険業者として届け出させること、また少額短期保険業者という保険事業の制度を定めたのが、この元となる「保険業法等の一部を改正する法律」だが、そこで取り残されていたのがいわゆる公益法人(社団法人・財団法人)の共済だった。2013年までに公益法人法改正に伴い転換を迫られた無認可共済事業者を認可特定保険業者として引き続き存続を可能とするものだ。

このほか本年の話題としては、長年金融審議会等で議論されてきた紛争解決の中立機関として、「そんぼADRセンター」が10月からようやく日の目を見たことだろう。苦情など顧客の声を真摯に受け止め迅速公平な対応をする窓口としてその役割が注目される。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

## なるほど『ぎふ雑学』(21)

松尾 一

### 「堀秀政」って知っていますか？

堀秀政(ほり・ひでまさ)は信長、秀吉に仕えた武将で天文22年(1553)、美濃で生まれ、永禄8年(1569)、13歳の時、小牧山に拠点置いていた織田信長の小姓、側近として取り立てられました。

秀政は、信長が岐阜に拠点を移したあくる年の永禄11年、將軍足利義昭の仮住まい京都本圀寺の普請奉行、元龜2年(1571)には、美濃立政寺の制札下付の取次ぎ、翌年の横山合戦での朝倉方への交渉役、天正元年(1573)、京都妙覚寺の茶会での「御連衆」、天正7年の安土宗論など奉行職をこなしていきました。

また武将として、天正4年の摂津天王寺の戦いを始め、翌年の紀伊雑賀攻め、翌々年の有岡城攻めなどで数々の功をたて、天正9年、近江坂田郡で2万5000石を与えられました。その後、秀政は甲斐武田攻めに加わり、天正10年、本能寺の変の直前には、信長の命で明智光秀に代わって徳川家康の接待役を務めたのち、備中の秀吉軍に加わりました。

本能寺の変の直後、秀政は秀吉方となり山崎の戦いでは天王山の最前線で活躍したあと、さらに近江坂本城攻めで明智勢を打ち破り、翌年、賤ヶ岳の戦いでは秀吉方の最前線、東野に陣を置いて戦い、北ノ庄城攻めにも参戦して近江佐和山9万石の城主となりました。またこの頃、秀吉から「羽柴」姓を与えられ、従五位下左衛門督に叙任されていました。さらに小牧・長久手の戦い、紀伊攻め、四国攻めに加わり、北ノ庄18万石の城主となり、従四位下侍従兼左衛門督に叙任されました。

天正15年の九州攻めでは島津方との交渉役を務め、18年には小田原に出陣、山中城を陥落させましたが、病にかかり5月27日に没しました。38歳の若さでした。



秀政は、なにごとそつなく仕事をこなしたので「名人久太郎」と呼ばれていました。北ノ庄城主のとき、城下の高札に秀政の治世を批判した文書が貼られましたが、秀政は感激してこの文書を家宝にして、批判に応え治世を改めたため、名声を高めたといえます。また、秀政の才能は秀吉や家康も認め、秀政が小田原の陣で亡くなった時、秀吉が「奥州を与えようと思っていた」と言うほどでした。

秀政の出身地、岐阜市茜部本郷には顕彰碑(国土交通省岐阜国道事務所の南方、国道157号沿い)があり、京都大徳寺総見院には秀政が寄進した梵鐘があります。

また墓は福井市の長慶寺、上越市直江津の林泉寺などにあります。

歴史には「もしも」という言葉は禁句ですが、もしも秀政が江戸時代まで長生きをしていたら、藤堂高虎、伊達政宗、山内一豊などと並ぶ、一般にも知られた武将になったのにちがいません。もっとスポットライトが浴びても良い武将。それが堀秀政なのです



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)  
著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!?』『北陸街道紀行』等多数

# 高性能バッテリーについて

SHINWA グループ

会 長 名 和 盛 男

岐阜県損害保険代理業協会 会員の皆様には今年も多数のご利用とご用命をいただきまして誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。迎えます年も、SHINWA グループをより一層お引き立ていただきますようご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、今回は、高性能バッテリーについてお話をさせていただきます。最近の自動車はいろいろな部分が、従来の機械式から電気式の作動にどんどん変わってきています。加えてETCやカーナビなど、常時消費する電気量も増加しており、バッテリーの負担は益々大きくなってきています。そんな中、トヨタのハイブリット車には高性能なバッテリーが搭載されています。

このバッテリーはメンテナンスフリーで長持ちというメリットの反面、寿命がくると急に電圧が落ちるといったデメリットを持っています。

そのため、たいした前触れもなくバッテリーがあがって、ある朝突然エンジンが始動しないどころか、リモコンでドアも開かないといったことが起きかねません。もしプリウスならドアをスペアキーで開けたとしても、

充電するべきバッテリーはトランクルーム内にあり、しかもバックドアは電動でしか開かない・・・

もちろん、それでもレスキューの方法はありますが、なかなか大変です。そんなことにならないよう、早めのバッテリーチェックが必須です。そんな時もぜひお近くのSHINWA グループ工場をご活用ください。



SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣以西)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野鍍金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田鍍金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島鍍金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田鍍金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
糸貫自動車 (本巣市)	058-323-1251	058-323-0753
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108



高性能バッテリーのチェックのご用命も  
もちろん、SHINWA グループ各店まで！！

# 損害事故復旧サービス

早いもので、今年も残りわずかとなりました。本年もお引き立ていただきましてありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## < 今月の復旧事例 >

車が道路標識・生垣 1.1 m・擁壁 6 mを破損させてしまいました。道路標識は危険なため、事故当日に撤去しました。道路標識は警察署、植栽・擁壁は被害者様とそれぞれ連絡を取りあい、まず、道路標識と擁壁を復旧してから、植栽を復旧しました。

< 場所 > 山口市大桑

< 費用 > ￥902,370 - (税込)

被害状況



復旧後



建造物復旧は、

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イケダ** へ。

☎ 058 - 271 - 6788 (24時間即日対応)

FAX: 058 - 271 - 6787

携帯: 090 - 2775 - 4085

E-mail: joho@homestep.com

県内はもちろん、東海四県、北陸も即対応。その他の地域もご相談ください。

## ☺ 年末年始のお知らせ ☺

12月28日～1月5日まで、事務所はお休みさせていただきますが、  
その間も**通常通り、事故対応いたします。**

# 交通事故による損害復旧工事

No.0089

岐阜市地内

雪害による雨樋取替え工事

復旧工事費用

700,000円

作業中

作業中



\* 昨年の雪害にて施工した事例です。

\* 今年も雪が多いと予報されております。**雪害の復旧見積もお気軽にご連絡下さい。**

\* 雨樋破損・カーポート破損・フェンス倒壊が雪害では多いようです。

**夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。**

**Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする**

**24時間・年中無休の安心対応**

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

**有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨**

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL [giensouken@vega.ocn.ne.jp](mailto:giensouken@vega.ocn.ne.jp)

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

# 岐阜県代協ホームページに関するアンケートのお願い

岐阜県代協会員の皆様には、日頃より広報活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。  
岐阜県代協のホームページ（<http://hokendaikyo-gifu.org/>）のリニューアルに向け、会員の皆様より広く意見をお伺いしたいと考え、代協ニュース10月号、11月号にてアンケートをお願い申し上げましたが、未だ参考とさせていただきますにはご回答数が少ない状態です。大変申し訳ございませんが、三度アンケートをお願いしたいと存じますので皆様のご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

ご回答の際は直接このページにご記入いただき、岐阜県代協まで FAX（058-294-8051）いただくか、または [gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp) まで回答メールをご送信くださいますようお願い申し上げます。

広報機関誌委員長 川島邦夫

---

## ア ン ケ ー ト

今のホームページをリニューアルした方がいいか？ （いずれかに 印を）  
YES                      or                      NO

日頃岐阜県代協のホームページを訪れる頻度 （いずれかに 印を）  
毎日      ・      週に1回以上      ・      月に1回以上      ・      それ以下

ホームページに載せて欲しい情報

---

現在のホームページの内容で不要だと思う情報

---

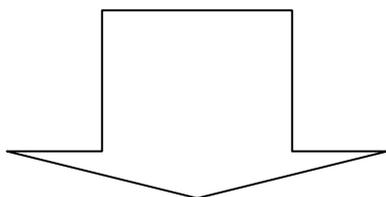
普段よく見るホームページや、参考にした方がいいと思うホームページ

---

その他

---

FAX 058-294-8051



発行日 / 平成22年12月27日  
責任者 / 大江 金男      発行 / 広報機関誌委員会  
〒502-0912 岐阜市西島町8-10  
Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051  
E-mail : [gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp)  
<http://www.hokendaikyo-gifu.org/>  
【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、  
大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、  
成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦